

TAC行政書士講座 無料オンラインセミナー

受験経験者が
『絶対』やってはいけない！

3つのポイント

2023.2.9

講師 小池昌三

【令和4年度行政書士試験結果】

受験者	47,850人
不合格者	42,048人
不合格率	87.9%

不合格になった理由

(1) 学習時間不足

→ 学習開始時期が遅い

(2) 問題演習不足

→ 問題を解かずに教科書ばかり読んでいる

(3) 学習範囲を広げすぎる

→ 6割で合格なのに完璧を目指しすぎる

- (1) 今すぐ開始
- (2) 問題演習中心
- (3) 択一で6割得点

合格に
必要な
ものは

受験受験者が
『絶対』 やってはいけない！

3つのポイント

絶対にやってはいけない！

陥りやすい**3つ**のポイントとは！

- ★「気持ちを新たに0から」
- ★「インプット強化のみ」
- ★「合否通知書の得点を過信」

絶対にやってはいけない①

気持ちを新たに
0から始める

→時間は有限。

⇒昨年のをフル活用。合格に必要なものを必要なだけ。

弱点強化に全力

- ① できていないところが「伸びしろ」
- ② 得点を伸ばすことを強く意識する
- ③ 限られた時間で確実に伸ばせるところから
- ④ 効果的な問題演習法

どこが足りない
かを分析する。



弱点を把握！
そこを強化！

択一・法令	120点獲得を目指す					
	問数	目標（素点）	あなた	所要時間	合計	あなた
基礎法学	2問(8点)	1問(4点)		1問2分	4分	
憲法	5問(20点)	3問(12点)		1問3分	15分	
民法	9問(36点)	6問(24点)		1問4分	36分	
総則	2問(8点)	1問(4点)				
物権	2問(8点)	2問(8点)				
債権	4問(16点)	2問(8点)				
親族相続	1問(4点)	1問(4点)				
行政法	19問(76点)	17問(68点)		1問2分	40分	
法理論	5問(20点)	4問(16点)				
行手法	3問(12点)	3問(12点)				
行審法	3問(12点)	3問(12点)				
行訴法	3問(12点)	3問(12点)				
国賠法	2問(8点)	2問(8点)				
地自法	3問(12点)	2問(8点)				
商法	5問(20点)	3問(12点)		1問2分	10分	
	40問(160点)	30問(120点)			105分	

完成しているところを丁寧に復習する必要はない。
得点を伸ばすにはどこをすべきかを考える。

絶対にやってはいけない②

インプット強化のみ

～テキストを読むだけ～

→テキスト読みは楽だけど、知識の精度は上がらない。

⇒問題演習中心の学習にする。

問題演習中心の学習

- ① 問題演習の重要性
- ② 過去問の重要性
- ③ TAC問題・市販問題の有効活用
- ④ 効果的な問題演習法

問題演習の**目的**を考えよう！

《間違った目的意識》

その問題に正解するためにする。

《問題演習の意味》

自分の知識の穴を発見して

その穴を埋めるためにやる！

どのような問題を使うか

《過去問の重要性》

過去問を使用することで5割確保

《T A C問題の有効性》

プラス α の部分を作るのに有効

効果的な問題演習法

- ① 曖昧な知識を増やしても意味がない
- ② 正誤判断を正確にできる知識を獲得
するための問題演習法

① 5肢択一式 問題演習法

問題 1 正しいものを選び

✕

✕

③

✕

✕

△

△

○

×

△

⇒

⇒

⇒

⇒

△
肢を復習

②多肢選択式 問題演習法

- ・ 問題の素材となるものは判例が多いので、判例を読むようにする。
- ・ 判例独特のキーワード（法律用語や漢字の熟語）を押さえるようにする。
- ・ 「〇〇的」「〇〇性」が空欄とされることが多いので押さえておく。

③記 述 式

問題演習法

- ・マーク式ではないので練習必要
- ・問われる知識は択一レベル。択一の知識の精度を徹底的に上げる。
- ・条文・判例独特のキーワード（法律用語や漢字の熟語）を押さえるようにする。
- ・演習を繰り返す。

絶対にやってはいけない③

合否通知書の得点を 過信する

→昨年11月のもの。知識は既に劣化。

同じ得点で不合格になる。過信してはいけない。

⇒即、学習を開始する。

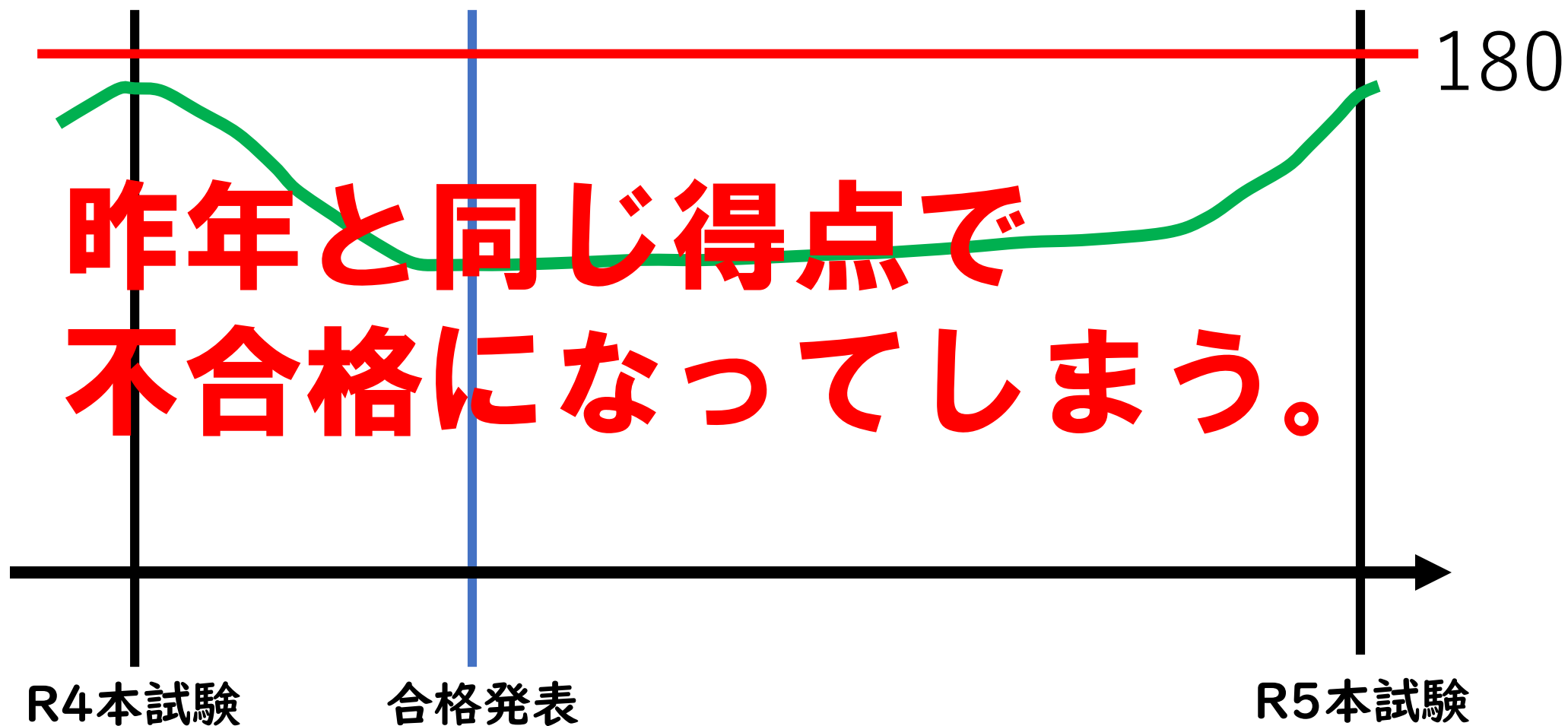
令和4年度・合否通知書

法令等	択一式	5肢択一式	160点	小計244点
		多肢選択式	24点	
	記述式		60点	
一般知識等	択一式	5肢択一式	56点	小計 56点
総得点	択一式	5肢択一式	216点	小計300点
		多肢選択式	24点	
	記述式		60点	

令和4年度・合否通知書（惜しくも不合格になった例）

法令等	択一式	5肢択一式	112点	小計140点
		多肢選択式	18点	
	記述式		10点	
一般知識等	択一式	5肢択一式	32点	小計 32点
総得点	択一式	5肢択一式	144点	小計172点
		多肢選択式	18点	
	記述式		10点	

知識曲線



令和4年度・合否通知書

法令等	択一式	5肢択一式	160点	小計244点
		多肢選択式	24点	
	記述式		60点	
一般知識等	択一式	5肢択一式	56点	小計 56点
総得点	択一式	5肢択一式	216点	小計300点
		多肢選択式	24点	
	記述式		60点	

合格基準モデル（180点の得点の仕方）

法令等	択一式	5肢択一式	112点	小計148点
		多肢選択式	16点	
	記述式		20点	
一般知識等	択一式	5肢択一式	32点	小計 32点
総得点	択一式	5肢択一式	144点	小計180点
		多肢選択式	16点	
	記述式		20点	

合格基準モデル（マークで180点が理想）

法 令 等	択 一 式	5 肢択一式	120点	小計140点
		多肢選択式	20点	
	記 述 式		0点	
一般知識等	択 一 式	5 肢択一式	40点	小計 40点
総 得 点	択 一 式	5 肢択一式	160点	小計180点
		多肢選択式	20点	
	記 述 式		0点	

TAC行政書士講座

- 1 プレミアム本科生
- 2 答練本科生 上級講義付き
- 3 答練本科生 A

コース選択

プレミアム本科生

- ・本試験の総合得点150点未満（うち記述30点未満）

答練本科生 上級講義付き

- ・本試験の総合得点150点以上（うち記述30点以上）

※上級講義付き

- ・アウトプットの前に基本知識の理解を深め、もう一度整理したい人

行政書士試験の得点によるコース選択

コース選択の場合には、記述式と一般知識を除いて、下記、法令択一（160点満点中88点以上）と法令多肢（24点満点12点以上）の合計点で6割弱（100点ぐらい）を超えているかどうかを一つの基準として、ご検討いただければと存じます。

【法令択一＋法令多肢 マークシート問題による目安】

法令択一40問 （160点） 法令多肢12空欄 （24点）		合計184点満点
22問以上＋6空欄以上 ＝およそ 100点以上	答練本科生 上級講義付き 答練本科生 A	
22問未満＋6空欄未満 ＝およそ 100点未満	プレミアム本科生	

法令記述式には例年難易度が変化するため、「記述式で得点できているから受験経験者」、「得点できていないから基礎クラス」には必ずしもなりません。一応の目安は30点～36点ぐらいです。記述だけで言えば、3問合計で30点以上なら受験経験者クラス、それ未満なら基礎クラスがお勧めです。

【参考・法令記述問題による目安】

法令記述 3問(60点)	
各問題 10点以上 =3問の合計 30点以上	答練本科生 上級講義付き 答練本科生 A
各問題 10点未満 =3問の合計 30点未満	プレミアム本科生

受講料がオトク！ 『受験生応援割キャンペーン第2弾』 がオススメ！

「受験経験者割引」「再受講割引」各受講料から更に**¥11,000 OFF**！

<対象コース>

「プレミアム本科生」

「答練本科生 上級講義付き」

「答練本科生A」

★キャンペーンの詳細は
TACホームページをご覧ください！

夢を諦めない受験生をサポート！

2023年合格目標

受験生 応援割

キャンペーン [第2弾]

受験経験者割引・再受講割引
各受講料から¥11,000 off！

TAC 行政書士講座

2023.
2/1(水)
▼
3/31(金)